

[電子申請支援システム - シミュレーション について]

質問:

経審の点数シミュレーションでは、過去のデータはどこまで必要ですか？

回答:

財務諸表(Y点)はシミュレーションを行う期とその前期の2期分が必要です。完工高(P点など)で3年平均をとる場合には3期分のデータ入力が必要になります。

ただし、決算期変更等で12ヶ月に満たない期がある場合は24ヶ月又は36ヶ月分に足りるまでのデータが必要です。

質問:

財務諸表を作成する前にシミュレーションできますか？

回答:

「**かんたん入力シミュレーション**」をご利用ください。

経審計算に必要な項目のみを入力して経審結果を簡単に算出することができます。画面上に経審評点が表示され、数値を入力すると同時に評点変化を確認できます。

<操作方法>

顧客台帳画面にて[決算報告・経営状況分析・経審・入札 関連]タブの[経営状況分析/経審]-[かんたん入力シミュレーション]をクリックします。

画面上部のボタンで画面を切り替え、「経営状況」から「その他審査項目」まで評点計算に必要な黄色い入力欄にすべて入力します。(各書類の入力画面から入力されている数値が反映します。)

[審査結果表示]で結果をご確認ください。

[かんたん入力終了]時に入力した内容を各書類へ反映できます。(シミュレーションした結果を残す場合は反映してください。)

かんたん入力シミュレーションの財務データは評点計算に必要な科目のみとなります。経営状況分析申請に必要な財務諸表を作成する場合は、財務諸表の入力画面にて作成してください。

質問:

各書類に入力しているデータを変えずにシミュレーションした結果を残せますか？

回答:

かんたん入力シミュレーションで入力した内容は、各書類(財務諸表、経営規模等評価申請書、工事種類別完成工事高、技術職員名簿、その他審査項目)に反映しなければ保存されません。(かんたん入力シミュレーションを開いた時に各書類に入力されている数値が反映する仕組みとなっています。)

あらかじめシミュレーション用のファイルを作成し、データを入力済みの元ファイルとシミュレーションファイルを分けてご利用ください。決算期ファイルを複写すると便利です。

決算期ファイルを複写する

顧客台帳画面[決算報告・経営状況分析・経審・入札 関係]タブの[処理を行う決算期の設定]をクリックします。

複写の元になる決算期ファイルを選択して[複写]をクリックします。

複写したファイルを選択して[設定変更]をクリックします。

ファイルの内容がわかるようにコメント・備忘録に入力して、[OK]をクリックします。

同じ期のファイルは、「シミュレーション用」、「経審提出用」などコメントを付けて管理することをおすすめします。

質問:

2期平均と3期平均のどちらが有利か確認したい。

回答:

財務諸表、経審書類の入力が済みましたら、顧客台帳画面から[経営状況分析/経審]-[審査結果表示]-[激減緩和シミュレーション]を表示します。

激減緩和処置の4パターンのうち業種ごとに最も高い点数を青色で表示します。赤チェックが付いているパターンが現在選択されています。

どの業種を重視するかなど総合的な点数を考えて、有利な組み合わせを選択してください。

この画面で選択していただくと各書類に反映します。

ヒント

完成工事高は、その他の審査項目の点数にも影響します。(W52は工事高が少ない方が有利)

業種が複数ある場合は、業種ごとに有利不利が分かる場合もあるため、工事高が大きくなる方が有利とは一概にはいえません。

自己資本額は、多い方が有利となります。

質問:

Y点が0点になってしまいます。

回答:

設立時、または設立後はじめての決算で365日(もしくは366日)に満たない場合は「0点」となります。

上記に該当しない場合で0点の時は、経営状況分析申請書の入力画面を開き、審査対象事業年度の処理の区分が「04」(設立時)または「03」(初めての決算)と入力されていないかご確認ください。

決算期変更で12か月満たない場合は、処理の区分は「02」となります。

質問:

Y点のX指標を手計算しましたがシミュレーションの点数と合いません。

回答:

各指標にはそれぞれ上限値と下限値が設けられております。 小数点以下3位未満は四捨五入

顧客台帳画面-[経営状況分析/経審]-[審査結果表示]-[ウェイト換算]を表示して、各指標の現在値と上限、下限をご確認ください。

各指標の算出過程は、顧客台帳画面-[経営状況分析/経審]-[審査結果表示]-[Y]画面の[計算式確認]、[計算式確認用印刷プレビュー]でご確認ください。

算出方法についての詳細は [こちら](#) をご参考ください。

質問:

分析結果通知書のY点とシミュレーションした点数が異なります。

回答:

顧客台帳画面から[経営状況分析/経審]-[かんたん入力シミュレーション]を開き、「経営状況」画面で黄色の入力欄(Y 評点の算出に必要な科目)に漏れや間違いがないかご確認ください。

ここで修正した内容は画面を閉じる際に各書類へ反映できます。

ヒント

- ・当期営業キャッシュフローが異なる 法人税及び住民税事業税が入力されていますか？
- ・前期営業キャッシュフローが異なる 前々期の評点計算に必要な科目が入力されていますか？

各指標の算出過程は、顧客台帳画面-[経営状況分析/経審]-[審査結果表示]-[Y]画面の[計算式確認]、[計算式確認用印刷プレビュー]でご確認いただけます。

「計算確認画面」

「計算式確認用印刷プレビュー」

質問:

審査結果と実際の評点 (P点) は同じになるのでしょうか？

回答:

評点計算に必要な項目 (黄色い入力欄) にすべてご入力いただければ正確に評点を計算することができます。
各書類の入力画面、かんたん入力シミュレーション画面のどちらから入力してもかまいません。

評点が異なる場合は、[審査結果表示] を表示し、「X1、Z、Y、X2、W」のうち相違がある評価項目をご確認いただき、かんたん入力シミュレーションの各画面 (X1 = 「完成工事高 元請け完成工事高」、Z = 「技術職員数」Y = 「経営状況」、X2 = 「自己資本額 利益額」、W = 「その他審査項目 (社会性等)」) で入力いただいた数値をご確認ください。
[入力データ印刷] でチェックリストの印刷ができます。

各評点項目の計算方法は [経審評点計算表](#) をご確認ください。

質問:

[審査結果表示] をクリックするとエラーチェック結果が表示されます。

回答:

財務諸表や経審書類に不備がある場合に表示しております。

経審書類をすべて作成していなくても、評点計算に使用する項目 (黄色の入力欄) がすべて入力されている場合は、エラーがあっても評点を算出できます。

質問:

[審査結果表示] をクリックすると「前期引当金が入力されていません」と表示されます。

回答:

前期引当金の計上が無い場合は入力不要です。

審査結果表示する時にチェックする項目は、財務諸表の入力画面でメニュー [ツール] - [オプション] - [チェック] タブにて選択することができます。

質問:

かんたん入力シミュレーション 「完成工事高 元請完成工事高」画面の入力欄が黄色になりません。

回答:

- ・審査対象のチェックと許可区分「一般/特定」が選択されているかご確認ください。
- ・前期以前の決算期が入力されているかご確認ください。

かんたん入力シミュレーションを終了して、書類選択画面にて[基本設定]をクリックします。
前期以前の決算期も正しく入力します。[基準決算の内容から以下を計算]ボタンで、基準決算の決算期をもとに前期以前の決算期を入力できます。

質問:

かんたん入力シミュレーション 決算期が12か月に満たない場合は換算した数値を入力するのですか？

回答:

12か月に満たない場合は、**換算前の数値を換算に必要な期まで入力してください**。(必要箇所が黄色になります)

換算後の完成工事高・元請完成工事高の数値は、[入力データ印刷]で確認できます。

質問:

3年平均を選択していますが、平均完成工事高が3期分の数値を足して3で割った数値になりません。

回答:

平均完成工事高の算出方法は次のとおりです。

$$[\{ ((\text{前期} + \text{前々期}) \div 2) \times 2 \} + \text{今期}] \div 3$$

前期と前々期を足して2で割り、小数点以下を切り捨てて2倍にします。さらに当期を足し合わせて3で割り、小数点以下四捨五入します。

平均を算出する際の端数処理は、審査結果表示画面上部の[オプション]-[完成工事高]タブで数処理方法を選択することができます。